

民主教育研究所 コロナ・パンデミックフォーラム第1回
東京都市部各教育委員会の動向

2020/08/08

荒井文昭（東京都立大学）

1、分析視点の設定

(1) 各教育現場から、困難をかかえる子ども・家庭についての具体的な情報把握を、どのようにおこなえたのか？また、福祉との連携はどうだったのか？

ex.学童や子ども支援NPOなどとの連系は？

(2) 再開に向けた市町村教育委員会と各教育機関の対応状況と課題は？

ex.教育課程の再編をめぐる各教育委員会と文科5・15通知とのギャップ

ex.公民館、図書館、美術館の事業再開をめぐる首長部局と教育委員会の関係

(3) 感染症対策をすすめるためにグローバルな協力と統一的な対応が求められることと、個人の自由を守り抜くことの両立こそが求められている。そのためには、権力に対する監視力を一人ひとりの主権者が身につけていくことがカギとなる。

※2020年3月14日、改定された新型インフルエンザ等対策特別措置法（特措法）が施行されることにより、対策本部長が緊急事態宣言を発令可能となる。国会の承認なく、基本的人権の制限を合法化（首長のもとに、教育委員会が組み込まれることを含む:特措法24条・36条）。

2、東京都市部教育委員会の対応状況

※7月末1週間弱の期間に、都内各自治体HPより収集された資料（別資料）をもとに、市部教育委員会の対応を（1）から（6）までの項目で検討した。

(1) 通常授業開始

4月15日 小笠原村

6月1日 青梅市（給食は小学6月15日、中学8月7日）、奥多摩町、大島町、新島村、御蔵島村、八丈町

6月8日 東村山市（中学は10日から）、福生市（給食は分散登校から実施）、瑞穂町（簡易給食）

6月11日 昭島市（給食含む）

6月15日 八王子（給食含む）、立川市（予定、給食開始）、武蔵野市（1年以外給食開始）、府中市（給食小1のみ22日開始）、調布市、町田市、小金井市（給食順次）、日野市、国立市（22日通常給食）、武蔵村山市、多摩市、西東京市、檜原村

6月22日 小平市、東大和市（給食は6月15日）、稲城市

6月29日 狛江市

※通常再開と給食の関係はあるのか？

※国分寺市、清瀬市は学校ごと？

(2) 夏休み期間

8月1日-16日(16) 国立市

8月8日-23日(16) 東久留米市、清瀬市、狛江市(中学)、日野市、調布市、府中市

8月1日-8月17日(17) 東大和市

8月6日-23日(18) 八王子市(中学)

8月1日-19日(19) 大島町

8月1日-8月23日(23) 八丈町、新島村、日の出町、瑞穂町、西東京市、多摩市、狛江市(小学)、国分寺市、東村山市、小平市、町田市、昭島市、武蔵野市、立川市

8月1日-8月24日(24) 羽村市

8月1日-26日(26) 八王子市(小学)

7月23日-8月25日(34) 武蔵村山市

7月18日-8月26日(40) 小笠原村

※教育課程再編と夏休み期間に、どのような関連性があるのか？

(3) 学力テストの中止

昭島市、調布市、町田市、清瀬市、武蔵村山市。

※市町村教育委員会による中止決定と、各学校対応が別になっている事例もあるのか？

(4) オンラインによる双方向対応

狛江市、福生市？

八王子市(動画配信・課題ダウンロード)、武蔵野市(動画配信、貸し出し要相談)、三鷹市(貸し出し)、府中市(クラウド学習教材、ルータ貸し出し)、昭島市(リンク集と授業配信)、調布市(学習支援サイト設立)、小金井市(ICT機器活用を検討)、小平市(オンライン学習の推進?)、東村山市(学習コンテンツリンク集)、福生市(双方向導入)、狛江市(タブレットとルーター、双方向指導)、東大和市、東久留米市(5月以降はインターネット活用)、武蔵村山市(ルーター貸し出し)、羽村市(動画)、西東京市(リンク集)、瑞穂町(オンライン学習?)、奥多摩町(リンク集)、三宅村(タブレット)

※教育の市場化を含む、Society 5.0 政策をめぐる動向との関連。

※双方向性はどの程度確保されていたのか？ルーター貸し出しなどは十分？

※ネット社会における主権者性の確保、プライバシー保護をめぐる課題。

(5) 登校日の対面やケア記述あり

三鷹市(困難な児童教室見守り、希望者に昼食提供、週1放課後補習など)、町田市、国立市(電話)、福生市(電話)、福生市(電話)、東久留米市(電話、一部少人数教室指導)、瑞穂町(電話)、三宅村(電話相談)、八丈町(リンク集)

※教職員に過度な負担をかけない工夫はあったのか？

(6) その他

昭島市(図書カード配布)、多摩市(今年度のみ2学期制)